

留学だより No. 2

こんにちは。次世代リーダー育成道場でカナダのオンタリオ州に留学している森田です。こちらは今日（11月2日）サマータイムが終わりウィンタータイムになりました。今朝、7時に目覚めて早起きしたなと思っていたら時計は8時（リセット前）を指しており困惑しました。今回は10月のイベント特集でいこうと思います。

～Thanksgiving～

もとはヨーロッパから北米にきた人々が冬に生き延びる方法を教えてくれた先住民へ感謝を伝えるお祭りとして始まりました。カナダでは10月の第2月曜日です。この日は学校も休みになり、家族と過ごします。Thanksgiving といえばターキー。ターキーを焼き上げるのが私たち（私、2人のホストシスター、スイスからの留学生 Enya）の仕事でした。私は流行りに疎いので全く知らなかったのですが、Blind Mute Deaf Challenge というものが若者の間で流行っているようで、それで調理をしました。流行りといえば、こちらでは67という言葉が異様に流行っています。もとは曲の歌詞で、それが身長6'7"のバスケットプレイヤーと一緒に TikTok に挙げられたことで流行ったそうです。特に意味もないのに、6か7が現れるたびに six-seven！と大騒ぎです。理解できません。話を戻して、このチャレンジは目隠し、ヘッドフォン、テープで、それぞれ見えない、聞こえない、しゃべれない状態のどれかになり、協力して料理をするというものです。個人的には、面倒だなと思いました。が、ガールズと一緒にだとなんだかんだ何をしてても楽しいです。ターキーにはリンゴやセロリ、玉ねぎを詰めて表面にはハーブを混ぜたバターを塗り、と結構本格的にやりました。他にもマッシュポテトとパンプキンパイも作りました。二日間にわたる大仕事でしたが、結果は大成。ホストファザーには“誇りに思うべきだ”と褒めてもらえました。



ターキー。実は写真を撮る前にファザーが待ちきれないといって食べてしまい、後ろは欠けています。

～Halloween～

北米といえばやっぱり Halloween。ゾンビに骸骨、大量のお菓子、、その通りなのですが、私は学校で宗教の授業をとっていて、先生が“本当の Halloween”について語ってくれたので、そちらも紹介したいと思います。10月31日はケルト人にとって、いよいよ暗い冬が始まるということで生と死の境があいまいになり、お化けがこちらの世界に戻ってくるとされる日でした。お化けから守ってもらうためコスチュームを着て食べ物を捧げました。キリスト教はどのようにかかわっているのか。700AD 頃にキリスト教会が、恐れることは

ない、と11月1日を All Saints Day という神聖な日としました。10月31日はその前夜ということで神聖を意味する Hallow に Eve がついて、やがて Halloween と呼ばれるようになります。ちなみに11月2日は All Souls' Day といって死者に思いをよせます。ということでクリスチャンにとってこの3日間は神聖な日であり決しておぞましいデコレーションや仮装をする日ではないのです。仮装やキャンディーで祝うことを拒否する少数の厳格なクリスチャンもいます。その後アイルランドからの移民の影響で1800年頃から仮装をして食べ物を請う Trick or Treat の文化が始まります。1950年頃にはお化けなどのイメージばかりが伝えられ、今のような形になったそうです。と、まじめに語りましたが、私は思いっきり世俗的な Halloween を楽しませていただきました。一日ゴリラの仮装で過ごし、6時半頃から友達と Trick or Treat に行きました。小さな飴をもらうくらいかなと思っていたのですが、実際にはみなさん太っ腹で大きなバッグいっぱいのチップスやチョコレートをもらい消費文化を感じました。本当に大量で、初めは申し訳なさを感じたほどでしたが、段々と感覚がマヒして2時間くらい歩いて回りました。その後近所に住む友達の家になんとかお邪魔し、帰宅してから、もらったお菓子を広げた時にはあまりの量に放心状態でした。が、次の日、ホストシスターたちとモノポリーをしながら（モノポリーは毎週末のお決まりです）みんなでキャンディーをシェアしていたらみんな罪悪感を抱きながらも手が止まらず、この調子なら全部おいしくいただくことができそうです。でも、ホストマザーは子どもがキャンディー（チョコレートなど甘いもの全般を指す）を食べるのが好きではないと言っていました（それはもうすごい砂糖の量ですから）。確かに健康的ではないし、各家庭お菓子の用意にかかるお金も少なくはないはずです。実際にすべてのお家が参加していたわけではありませんでした（明かりがついていないのがサインです）。回ったお家の方は皆さん優しく笑顔で、伝統的な地域のコミュニケーションの一種であることに間違いはありませんが、サステナブルではないのかもしれないなとも感じました。ちなみに、この日は Blue Jays(Toronto)対 Dodgers(Los Angeles)のワールドシリーズ最終日で多くのお宅のテレビで試合が流れていました。友達は、“大谷が好きだけどそれ言ったらキャンディーもらえないね”と表では“Go Jays Go”と言っていました。



Trick or Treat でいただいたお菓子たち

～ふりかえり～

10月の感想を一言で表すなら、「寒い」です。既に朝の気温が0度を下回ることも珍しくありません。寒さ対策と交通手段の確保を試行錯誤しながら、校外の水泳クラブに加入しました。週3回バスを使って通っています。また、校内の水泳クラブも始まり、今は週に4回泳ぐことができている、Trick or Treat のお菓子も怖くありません。自ら動き、行動

範囲を広げることができた1か月でした。自ら動き、とは言ったものの自分の力だけで充実した生活を送れているとは思っていません。ホストファミリーやコーチ、両親、友達、先生、コーディネーターさん、バスドライバーさんなど多くの人々に支えられた恵まれた環境だなと感じています。クラブを含め日常のリズムが定着しつつあります。11月も感謝の気持ちを忘れずに一日、一日大切に過ごしたいと思います。写真が少なく、申し訳ありません。最後に今月のベストショットを載せたいと思います。秋を感じていただけたら嬉しいです。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

17期 森田



左上) 学校帰りの道中のメープルの木

中上) ガールズで犬の散歩の途中に落ち葉の山を作って遊びました。

右上) 星見えますか? 夜空がとてもきれいです。流れ星を見た気がします。

左下) 朝スクールバスを待っている時。草木は凍っています。

右下) ボランティアでホストシスターとカップケーキを焼きました。売り上げはホスピスに寄付されます。

ちなみにハート、夜空、カップケーキはホストシスターが撮った写真です。留学だよりを書くにあたって写真が足りず、もらいました。つくづく自分は写真を撮るのが下手だなと感じます。